



戦前・戦後を通じて、海外の日本人に神道を布教し、また、海外の神社建立活動や研究・評論を行なった神道家である小笠原省三の著作『海外の神社並にブラジル在住同胞の教育と宗教』を復刻出版。旧植民地研究や移民史研究に多くの研究材料を提供。海外神社建立を、理論的に論じている部分は、思想的に興味深い。他方、アジアから南米まで、著者自らが踏査して書いた各神社やその周辺の様子の記述は、ルポルターージュとして貴重である。

(底本：昭和8年、神道評論社刊)

海外神社の建立、研究、評論に活躍した小笠原省三の昭和八年の名著。  
植民地史、移民史、宗教史、対外関係史の研究に有用な稀少文献。

# 海外の神社

並にブラジル在住同胞の教育と宗教

小笠原省三 [著]

保阪 正康 [解説]

菅 浩二 [解題]

2005年5月刊行

Anniversary  
30<sup>th</sup>  
since 1975

ゆまに  
書房 YUMANI  
SHOBUN



# 目次

題 字 荒木 貞夫  
はしがき 筧 克彦  
序 吉田 茂  
序 宮地 直一  
自 序 小笠原省三

## 第一章 日本民族の海外発展

其の一 歴史

●日本民族とは何ぞや●拓植精神の発露●日本民族の南方経緯(倭寇/御朱印船/鎖国令出づ)●倭寇及御朱印船の植民的考察

其の二 現況

●明治維新の国是●江戸時代の先覚者●明治より昭和へ(ハワイ/北米合衆国/カナダ/濠洲/メキシコ/ブラジル/秘露/フィリッピン/その他一般状況)

## 第二章 神社の本質と拓植事業

●神と神社●神社の起源と発達●拓植事業と神社(移民と植民/神社中心の拓植事業/欧州の移殖民運動/我が拓植運動と近代学者の見解)

## 第三章 海外神社奉斎の

反対論を駁す

●神社は民族的国家的なるが故に海外に奉斎せざるべからず●神社の形態は時代

と環境(国土)とに適應調和する進展性を有す●排日問題を検討す(人口問題と排日問題/北米合衆国の排日運動/有色人種を恐怖す/北米合衆国の苦惱/伯国の排日問題)●同化論及養子論を折伏す

## 第四章 日本民族の世界的使命

●自国卑下の悪風●人口増殖は神意である●日本移民の優秀性●神社奉斎は日本民族の世界的使命なり

## 第五章 海外の神社を語る

●わが拓植運動の三分類●朝鮮の神社及神祠(龍頭山神社/大邱神社/嬉れしい話/仁川神社/羅南神社/清津神社/平壤神社/京城神社/朝鮮神宮/朝鮮の神社を論評す/朝鮮神社一覽表)●植民地の神社(台湾の神社/特色ある台湾の神社/台湾神社/台南神社/宜蘭神社/新竹神社/建功神社/台中神社/嘉義神社/開山神社/阿猴神社/台東神社/花蓮港神社/社及遥拝所/本島人の神仏又は祖先を祭祀する団体(神明会/祖公会/祭祀公業))●樺太の神社●南洋の神社●満洲及支那の神社

(安東神社/奉天神社/新京神社/大連神社/閩島の神社/菅口神社/天津の神社/張店神社/青島神社/上海の滬上神社/満洲神社/一覽表/外地に於ける神職及神社数●新嘉坡の神社(新嘉坡大神宮/豊川稲荷

神社)●南米唯一の寺院●ブラジルの神社●北米ロサンゼルス(の神祠)●ハワイの神社及神道教会

## 第六章 「明日以後」の

神社は如何なる

## 第七章 海外神社に関する

諸家の回答

## 第八章 内地の神社と外国人

〔伯国在住同胞の教育と宗教〕

教育に就いて

●学校●教員(伯人教員/邦人教員の資格/教員の俸給)●教科書●児童の成績●補習教育●今後の施設如何(巡回教師/文書宣伝/青年団及処女会/高級学校の設置)●渡航補助費

宗教に就いて

●クリスト教(ローマンカソリック/信教の動機/基督新教)●アリアンサ移住地●新旧基督教徒の反目●仏教(東西両本願寺/同胞の葬儀)●宗派神道●官幣大社●諏訪神社の深慮(穀を破る者の苦難/外務当局を折伏する/少数の同志に感謝す/駐日日本官吏の迷案/聖市よりアリアンサへ/アリアンサ移住地/太古の姿を見る/アリアンサの聖戦/諏訪明神鎮座/使命を果して帰朝す/後に来る者のために)

能力を見だしていく。○昭和3・4年にはブラジル・北米に赴く。帰国後、『移殖民事業と神社』、ついで『拓植事業と神社』を刊行。また昭和5年から8年にかけて再び朝鮮・満洲方面に渡り指導助言を行う。○昭和8年、海外神社の先駆的な活動報告『海外の神社』を刊行。この頃満洲建国にあわせてたびたび渡満。昭和9年3月満洲国皇帝即位式のため新京に赴く。同9月には東亜民族文化協会の設立に参画。○昭和10年、43歳の時、西尾哲子と結婚。昭和11年1月、長女恭子誕生。○昭和14年から20年まで南洋庁囑託や、外務省囑託として北支・中支・満洲の各所へ出張し、海外神社建設の指導助言をおこなった。○敗戦後、21年末、『民主主義と神社』を刊行。その後、『海外神社史 上巻』を含め、戦前の記録化と総括をおこなった。伊勢神宮の遷宮や倭姫命の啓蒙など神社界に論陣を張った。昭和45年11月12日、国分寺の自宅で肺炎のため逝去。享年78歳。

**小笠原省三** おがさわら・しょうぞう ○明治25(1892)9月14日、青森県南津軽郡藤崎村の神職の家に生れる。○明治45年3月に國學院大学教習科を卒業。はじめ、文筆家の道を歩み、大正5年『日本神代物語』、大正6年『日本国民伝説』(高木敏雄と共著)、大正8年『情の江戸時代』、大正12年に『秘密の国史』を出版。○大正11年秋に『神道評論』を発売。神道家としての活動をはじめ。同時期、赤化防止団の幹部として活動する。また、翌12年の関東大震災の際の虐殺事件の犠牲者となった朝鮮人の震災物故者慰霊祭を神式で執行了。○海外神社の活動家としては、最初に朝鮮神宮の祭神問題に取り組む。大正14年7月、自らが主宰する『神道評論』で『朝鮮神宮を中心とした内鮮融和の一考察』を発表する。この問題への彼の態度には朝鮮に対する深い共感が見られる。○同10月、朝鮮神宮の鎮座祭に参列し、つづけて奉天神社、大連神社をめぐる、現地の宮司・神職に接し、海外神社の活動家としての方向と可

Anniversary  
30<sup>th</sup>  
since 1975

ゆまに  
書房  
YUMANI  
SHOBOU

〒101-0047  
東京都千代田区内神田2-7-6  
TEL.03(5296)0491  
FAX.03(5296)0493  
http://www.yumani.co.jp/  
e-mail eigyou@yumani.co.jp

重版出来  
発売中

## 海外神社史

小笠原省三〔著〕

〔編集・解題〕嵯峨井建・菅浩二  
●定価25,200円(本体24,000円)

〔解題〕保阪正康

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日

海外の神社 並にブラジル在住同胞の教育と宗教

●定価25,200円(本体24,000円) ISBN4-8433-1647-4 C3021

セット

ご注文書

お名前  
ご住所

取扱店

TEL ( )

※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。

05.05/01.5000.H